

鵬



岩手県立盛岡第三高等学校同窓会事務局
〒020-0114 岩手県盛岡市高松四丁目17-16
TEL 019-661-1735 FAX 019-661-1221

同窓会報 2020

●発行 令和2年9月14日



鵬同窓会

総会懇親会

中止のお知らせ

例年10月の第4土曜日に盛岡市にて、開催されておりました「岩手県立盛岡第三高等学校 鵬同窓会総会懇親会」は、新型コロナウイルスの感染拡大予防の観点から、今年度は中止と致します。本来ならば総会の議決をもちまして決められるべき、事業案や予算案は、役員及び理事の方々による、書面決裁をもちまして代わりとさせていただきます。年に一度、全国から同窓生が集まる貴重な機会ではございますが、何卒ご了承頂きますようお願い申し上げます。



会員の皆様におかれましては、迫っている困難に、それぞれの場所、立場で頑張っておられることと推察いたします。このような状況ですので、同窓会活動が、必ずしも満足のいくようになっておらないことをお断り申し上げなければなりません。

振り返ってみますと、今年の3月3日の第55回生の卒業式は、在校生である1・2年生が不在の中で行われました。また、4月8日の入学式では、2・3年生が不在の中で新入生を迎えました。今まで経験したことのない状況で大変残念な思いをしました。

これまで何度か、三高の誕生について紹介する機会がありました。その際、「第二次世界大戦後のベビーブームに対応する高校生急増対策の一環として創設された。それは前回の東京オリンピックの前年、1963年（昭和38年）であった。」と説明している。第2次世界大戦といっても、当然私たちは経験をしていない。戦後70年以上経過し、経験している人も少なくなってきた。学校が誕生して、平成24年に創立50周年の記念行事を行ったが、これまでの時間を振り返ってみると、色々な社会的な出来事が思い出される。

1973年（昭和48年）10月には、中東戦争を機に、石油生産の削減と原油価格の引き上げにより、日本経済が大きな影響を受けたオイルショックがあった。その際には、トイレットペーパーや洗剤の買いだめの行動が見られた。（この年の8月には、野球部が一回目の甲子園出場を果たし、3回戦まで進んだ。）1993年（平成5年）には、記録的な冷夏による不作が原因で、米不足が生じた。買占めと売り惜しみで小売店の店頭から米が消えた。これまで米の国内需給率は100%であったが、タイなどの外国産米の緊急輸入が図られた。



同窓会長

泉山良男

「随処為主」 に想う

2011年3月には、東日本大震災が起こった。想像を超える規模に、多くの人命が失われ、復旧、復興に時間と人々の労力が必要とされている。そして、令和2年の新型コロナである。私たちが経験したことのない対応を迫られている。重症化した場合は、命に関わることが多いと言われており、特に高齢者で基礎疾患のある人は注意が必要であるとのことである。後に、団塊の世代と言われるベビーブームの1947年～49年（昭和22年～24年）に生まれた私たちは、70歳を超えており更新の注意が必要である。

三高の教訓の一つに「随処為主」がある。「随処に主となれば、立つ処みな真なり」と説いた「臨濟録」の一節で、「どんな場合にも主体性を持って臨みなさい。そのことは、世界のいかなる変化にも対応できる生き方なのです」という意味で使われている。今回の新型コロナの困難に当たっては、未知の部分も多く、どのように解決していけばいいのかわかりませんが、いずれ、それぞれの場所で、知恵を出し合いながら、以前の生活を取り戻す努力をしたいと思う。



校長

中島 新

With及びAfter コロナ時代の 三高

同窓生の皆様には、日頃から母校の教育活動にご支援、ご協力をいただいておりますことに心から感謝を申し上げます。

さて、今年は、新型コロナウイルスの影響で、経済活動はもちろんのこと、社会生活や学校の教育活動にも大きな影響を受けることとなりました。岩手県の場合は、7月30日現在、休校期間も今のところ最小限で済んでいます。本校でも、3月の海外・国内の各研修旅行を中止しましたし、部活動や学校行事にも大きな影響を受けています。しかも、国内外を問わず、依然として感染拡大の状況にあり、ワクチン開発やその使用時期等が取りざたされてはいるものの、まだまだ先を見通せない状況が続いています。

そうした中、本校の3年生にとって、部活動の最後の活躍の場は、7月18日の高校野球・対水商戦をはじめ、吹奏楽部や音楽部の定期演奏会、合唱祭等となり、芸術系の作品制作などもほぼ7月までの関わりとなるようです。本来であれば、部活や委員会活動等での全国レベルの活躍があったはずで、そうした意味では、3年生は、大きな心残りを感じながらも、その

気持ちを少し先の未来に発展的につなげたり、後輩たちに託したりして活動を終え、生活を切り替えました。一方、校内行事の体育大会や三高祭に関しては、開催そのものが危ぶまれましたが、生徒会役員と両実行委員会の生徒たちが、実施に向けた課題解決に主体的に取り組み、さまざまな情報を集めたり、チームで協力して知恵を出し合ったりして、新型コロナや熱中症予防等にも対策を講じ、新しい生活様式に対応した8月末の行事として再構築しました。もしかすると、こうした取組や行事の中に、既存の価値が変わって、新しい価値として置き換わるような部分も出てくるかもしれません。

今回の新型コロナの流行で、近隣のアジア諸国に比べ、我が国の情報通信技術の立ち後れが指摘されましたが、県は昨年来、県立学校の大がかりなICT化に取り組んできました。今年、本校はその研究推進校3校のうちの1校に指定され、今年中には、電子黒板型プロジェクターや専用黒板、無線LAN等が普通教室に整備されるとともに、さしあたって1クラス分のタブレット端末も配備されます。ICTは、「主体的・対話的で深い学び」の実現や「情報活用能力の育成」のための手段にしかすぎませんが、今までできなかったことが実現できる可能性も秘めています。これまで本校が実践してきた「参加型授業」の充実・発展はもちろんのこと、個々の生徒の学習上のつまづきを発見したり、解消したりすることにも役立てられそうです。また、ポストコロナや今後の世界も見据え、ICT機器の活用をはじめ、本校の教育活動全体を使って、前述の3年生の姿勢や生徒会の取組などに見られるような、レジリエンス（困難にしなやかに立ち向かう力）の一層の育成にも取り組んでまいります。

「ふつう」を疑うということ

山下 梓 (2002年3月卒業)

あなたの性別は何ですか？ そのお答えの根拠は何ですか？ ある年齢になったらだれもが人を好きになるとお思いですか？ 人を好きになることを「異性にひかれる」と表現されますか？

レズビアン (lesbian (同性愛の女性))、ゲイ (gay (同性愛の男性))、バイセクシュアル (bisexual (恋愛・性愛対象の人の性別を問わない人))、トランスジェンダー (transgender (出生時に割り当てられた性別とは異なる性別で自認する人))、インターセックス (intersex (解剖学上の性が典型的な女性・男性にあてはまらない人))、エーセクシュアル (asexual (無性愛の人)) などのLGBTI、性的マイノリティの人たちの人権問題にかかわるようになって15年が経ちます。この数年は、高校の先生や自治体職員などを対象とする研修で性の多様性と安心・安全な環境についてお話ししたり、男女共同参画や性的マイノリティと人権の観点から自治体の審議会の委員を務めたり、性的マイノリティの人たちの人権について研究や講義もさせていただくようになりました。

近年、文部科学省が性的マイノリティの児童生徒への「きめ細かな対応」について通知したり、レズビアンやゲイ、トランスジェンダーであることを公表した人が議員に当選したり、性のあり方を理由とした差別を禁止する条例ができたり、自治体が同性カップルを承認する制度を導入したり、岩手県でも男女共同参画センターにLGBT電話・オンライン相談が開設されるなど、日本国内だけをみても15年で変わったことは少なくありません。

その一方で、日本においては、性のあり方を理由とした差別を禁止する法律が未整備であったり、トランスジェンダーの人が戸籍の性別を変更する際に「性同一性障害」の診断や不妊手術を法律で求められたり、婚姻が異性愛の(男女の)カップルにしか認められないなど、制度上の排除や差別がまだまだ残っています。そして、これらの制度上の排除や差別は、LGBTIの人たちの社会生活上の実質的不利益だけにとどまらず、多数の人のあり方や、社会におけるあるべき姿を基準にした「ふつう」がなかなか変わらないことや、LGBTIの人たちの自尊感情の低下や自殺念慮などにもつながっています。

その時代時代の状況に疑問を投げかけ、多様な性の人たちが受容される社会に変えていこうとする動きは、半世紀以上前から世界各地で起きています。そのひとつが「プライドマーチ」などと呼ばれるデモ行進で、岩手県でも2018年からいわてレインボーマーチが開かれるようになりました。プライドマーチの起源



青森レインボーパーレード2016で(筆者は中央なかほど)(撮影=岡田実穂)

は、1960年代のアメリカにあります。ちょうど今アメリカで起きているBlack Lives Matterの発端がそうであるように、有色人種のトランスジェンダー女性を中心とする人たちが警察によるいやがらせや暴力に抵抗したのです(ストーンウォールの反乱)。

筆者は、ともに子どもを育てるママ2人が、子どもたちが通う学校の先生や他の保護者、子どもたちの友人に同性カップルであることを理解され、受容される困難や、日本と違って同性どうしても婚姻を認める法律を持つ国があるということを、高校3年生のとき、小論文対策のために下宿の友人が購読していた新聞を盗み見て知りました。「いろいろなかたちの家族が受け容れられない日本社会は、どこかおかしい。」親が離婚することを決め、家族とは母・父ときょうだいと自分、という考えを見直していた時期でした。保護者の選択を通じて、それまで当然と思ってきた家族像は、自分のあり方や社会が「ふつう」ととらえている家族像に過ぎないこと、ひとり親家庭はもとより、血縁とは異なるつながりの人が保護者である家庭や、ママ2人あるいはパパ2人という家庭もあるという現実気づくことができました。

「ふつう」は、異なる他者への配慮を欠き、排他的で、無知に由来するものとさえ思います。随処為主(どんな環境の中でも主体的に考え行動する姿勢)とは相容れないものです。冒頭の質問ですが、あなた/私の性別はあなた/私が感じる性別であり(必ずしも出生時に割り当てられた性別ではなく)、だれもが人を好きになるわけではなく、また、人を好きになることは「だれかにひかれる」が包摂的です。「ほとんどいつの時も、クリエイティブで献身的な少数派の人たちが世界をよりよくしてきた(Almost always, the creative dedicated minority has made the world better.)」(Martin Luther King Jr. 1969)とも言われますが、その少数派とは、ある属性について少数のあり方の人だけではなく、「ふつう」を疑う人のことだと思うのです。

2020

部活動 報告

令和元・2年度

<運動部>

陸上競技部

●第72回全国高等学校陸上競技対校選手権大会（沖縄インターハイ）

▼女子
走高跳 出場 佐々木莉生
●第70回岩手県高等学校新人陸上競技大会

▼男子
200m 第8位 阿部 晴充
800m 第7位 立花 大希
5000m 第7位 高橋 理久
3000m S C 第1位 高橋 理久
(東北大会出場)

5000m W 第3位 中軽米魁星
(東北大会出場)

4×400m R 第7位 田屋玖馬 藤森健伸
高橋理久 斎藤修吾

走幅跳 第7位 高前田涼斗

▼女子
100m 第7位 畠山 瑠莉
第8位 原田 未玖
200m 第4位 原田 未玖
(東北大会出場)

2000m S C 第5位 阿部 優心
第7位 関 梨花
5000m W 第4位 佐々木沙彩
(東北大会出場)

第7位 中館 千鶴
第3位 春日美月 畠山瑠莉
原田未玖 岩瀬里菜 (東北大会出場)

4×400m R 第4位 原田未玖 藤澤優月
須藤優羽 畠山瑠莉 (東北大会出場)

走高跳 第3位 佐々木莉生
(東北大会出場)

三段跳 第4位 佐々木莉生
(東北大会出場)

七種競技 第3位 田鎖はるか
(東北大会出場)

●第24回東北高等学校新人陸上競技選手権大会

▼男子
3000m S C 第4位 高橋 理久
▼女子
走高跳 第8位 佐々木莉生

新体操部

●令和元年度国民体育大会東北ブロック大会
兼第46回東北総合体育大会体操競技新体操
団体総合 第5位

澤口真由 田井萌香 村松 遙
照井若菜 藤田麻穂

個人競技 第5位 得点11.400

▼男子
フープ 第6位 澤口真由 得点5.800

ボール 第4位 田井萌香 得点8.500

クラブ 第6位 村松 遙 得点8.600

リボン 第6位 照井若菜 得点4.500

●第67回岩手県高等学校新人大会新体操
個人競技 (18人出場)

第2位 照井 若菜 得点15.050
※東北選抜大会出場

第4位 村松 遙 得点11.950

第5位 川向 杏里 得点11.750

第9位 千葉 芽依 得点 8.350

第11位 武蔵 滯佳 得点 7.050

第14位 佐々木麻衣 得点 7.050

第19位 中澤 早苗 得点 2.100

種目別クラブ
第3位 照井 若菜 得点 7.950

種目別リボン
第2位 照井 若菜 得点 7.100

第3位 川向 杏里 得点 5.500
団体競技 (3チーム出場)

第1位 得点12.100 ※東北選抜大会出場
村松 遙 川向杏里 照井若菜
千葉芽依 佐々木麻衣 武蔵滯佳

●第26回東北高等学校新体操選抜大会
個人競技 (18人出場)

第18位 照井若菜 得点 9.850

種目別クラブ
第16位 照井若菜 得点 6.400
第18位 照井若菜 得点 3.450

リボン 第18位 照井若菜 得点 3.450
団体競技 (12チーム出場)

第4位 得点11.750
村松 遙 川向杏里 照井若菜
千葉芽依 武蔵滯佳 佐々木麻衣

バスケットボール部

●第65回岩手県高等学校新人バスケットボール大会

▼男子
1回戦 盛岡三 53-46 久慈東
2回戦 盛岡三 74-65 黒沢尻北
3回戦 盛岡三 65-78 宮古
(ベスト16)

▼女子
2回戦 盛岡三 103-18 大船渡東
3回戦 盛岡三 73-48 花巻南

ブロック決勝
盛岡三 62-87 白百合 (ベスト8)

バレーボール部

●第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

▼男子
1回戦 盛岡三 2-0 大船渡
2回戦 盛岡三 2-0 盛岡農
準々決勝 盛岡三 2-1 水沢工
準決勝 盛岡三 0-2 盛岡誠桜
第三位 優秀選手 岸川弘幸

▼女子
1回戦 盛岡三 0-2 高田

●第67回岩手県高等学校新人大会バレーボール競技

▼男子
1回戦 盛岡三 2-0 盛岡工
2回戦 盛岡三 2-0 福岡
3回戦 盛岡三 0-2 黒沢尻工
ベスト8 優秀選手 岸川弘幸

▼女子
1回戦 盛岡三 2-0 不来方
2回戦 盛岡三 0-2 花巻南
(ベスト16)

卓球部

●第65回岩手県高等学校新人卓球大会

▼男子
団体 2回戦 盛岡三 3-0 岩手
3回戦 盛岡三 3-1 花巻南
4回戦 盛岡三 0-3 花北青雲
(ベスト8)

ダブルス 鈴木・川田 ベスト8
シングルス 鈴木雄大 第10位

▼女子
団体 2回戦 盛岡三 1-3 北上翔南
2回戦敗退

●第43回東北高等学校選抜卓球大会県予選会

▼男子
団体 第1位
(岩手県第2代表として東北選抜大会出場)

●第43回東北高等学校選抜卓球大会

▼男子
第1試合 盛岡三 2-3 聖和学園
第2試合 盛岡三 3-1 大曲
第3試合 盛岡三 0-3 帝京安積
第4試合 盛岡三 0-3 弘前実業
第5試合 盛岡三 1-3 山形南
予選リーグ第5位

バドミントン部

●第59回岩手県高等学校新人大会

▼男子
団体 2回戦 盛岡三 3-2 久慈東
3回戦 盛岡三 0-3 前沢

▼女子
団体 2回戦 盛岡三 3-0 一関学院
3回戦 盛岡三 0-3 前沢

ダブルス
2回戦 芳本・佐々木 2回戦敗退

弓道部

●令和元年度全国高等学校弓道選抜大会
第38回岩手県予選会

▼男子
団体 第3位 小倉勘生 川崎聖夜
皆川祐亮 岩崎大門

▼女子
団体 36射 8中で予選敗退

●令和元年度岩手県高等学校新人大会
第58回弓道競技

▼男子
団体 40射20中で予選敗退
個人 第3位 川崎聖夜 8射7中

▼女子
団体 40射19中で予選敗退

●第1回(令和2年度)岩手県高等学校通信
弓道錬成大会

▼男子
個人 第5位 川崎聖夜 20射15中

空手道

●令和元年度全国高等学校空手道選手権大会
個人形 インターハイ出場 乙部真優子

●第36回県高等学校新人大会
女子団体形 第3位
女子個人形 第7位 本田純美

剣道部

●第62回岩手県高等学校新人剣道大会

▼男子
個人戦
ベスト32 宇美颯人 田村魁士
2回戦敗退 大澤遥人
1回戦敗退 高橋昂河

団体戦 ベスト8
盛岡三 4-0 盛岡第四
盛岡三 2-1 遠野
盛岡三 0-4 福岡

▼女子
個人戦
ベスト16 村松芽依 金田一蘭奈
ベスト32 長岩希子 照井慈織

団体戦 1回戦敗退
盛岡三 0-5 盛岡南

水泳部

●第67回東北高等学校水泳競技選手権大会

▼男子
100m背泳ぎ 第4位 勝山 大輝
200m背泳ぎ 第3位 勝山 大輝
(インターハイ出場)

▼女子
100m平泳ぎ 第5位 東條 真奈
(インターハイ出場)

200m平泳ぎ 第4位 東條 真奈
(インターハイ出場)

●第87回日本高等学校選手権水泳競技大会
(インターハイ)

▼男子
200m背泳ぎ 第46位 勝山 大輝

▼女子
100m平泳ぎ 第30位 東條 真奈
200m平泳ぎ 第33位 東條 真奈

●第57回岩手県高等学校新人水泳競技大会

▼男子
50m自由形 第15位 吉濱 岳
100m自由形 第9位 吉濱 岳

▼女子
50m自由形 第3位 熊谷 菜那
(東北大会出場)

100m自由形 第3位 熊谷 菜那
(東北大会出場)

100mバタフライ 第3位 佐藤 りん
(東北大会出場)

200mバタフライ 第4位 佐藤 りん
(東北大会出場)

100m背泳ぎ 第5位 山内 梨乃
200m背泳ぎ 第6位 山内 梨乃

●第27回東北高等学校新人水泳競技大会

▼女子
50m自由形 第8位 熊谷 菜那
100m自由形 第12位 熊谷 菜那

100mバタフライ 第18位 佐藤 りん
200mバタフライ 第22位 佐藤 りん

サッカー部

●第54回岩手県高等学校新人サッカー大会
(男子)

1回戦 盛岡三 10-1 大船渡東
2回戦 盛岡三 0-7 専大北上

学校ホームページお知らせ 生徒の活動等詳しくはHPをご覧ください。 <http://www2.iwate-ed.jp/mo3-h/>

ラグビー部

●第99回全国高等学校ラグビーフットボール大会岩手県大会
2回戦 盛岡三 14-57 盛岡一
●令和元年度若手県高等学校新人大会ラグビーフットボール競技
Bブロック
1回戦 盛岡三・不来方合同 81-0 盛岡南
決勝 盛岡三・不来方合同 7-7 岩手
両チーム優勝

ハンドボール部

●第63回若手県高等学校新人大会ハンドボール競技
▼男子
○男子
1回戦 盛岡三 18-29 盛岡中央
▼女子
1回戦 盛岡三 24-10 盛岡誠桜
2回戦 盛岡三 16-13 盛岡二
準決勝 盛岡三 12-30 不来方
第3シード決定戦
盛岡三 24-23 盛岡南 第3位
優秀選手賞 吉田向日葵
2回戦 盛岡三 20-15 花巻北
3回戦 盛岡三 15-20 盛岡南
第4位
優秀選手賞 八重樫華凜

ソフトテニス部

●第64回若手県高等学校新人大会ソフトテニス競技
▼男子
団体 2回戦 盛岡三 2-1 一関一
3回戦 盛岡三 2-1 盛岡商
準々決勝 盛岡三 0-2 黒沢尻北
ベスト8
個人 田中成樹 攝待 開 3回戦敗退 (ベスト32)
湊谷 伯 伊東 壘 1回戦敗退
▼女子
団体 1回戦 盛岡三 3-0 不来方
2回戦 盛岡三 2-1 盛岡二
3回戦 盛岡三 2-0 大船渡
準々決勝 盛岡三 1-2 水沢 (ベスト8)
個人 米澤萌和 畠ゆきの 1回戦敗退
盛内歩佳 菊池さくら 2回戦敗退
恵津森一葉 大久保理子 3回戦敗退 (ベスト32)

テニス部

●令和元年度全国高等学校総合体育大会テニス競技
▼女子
シングルス
1回戦 高橋優実 2-6 鹿児島純心女子
ダブルス
1回戦 高橋優実 山根里々花 1-6 早稲田実業
●第51回若手県高等学校新人テニス大会
▼男子
団体
メインドロー
1回戦 盛岡三 1-4 盛岡工
フィールド インコンソレーション
2回戦 盛岡三 3-1 福岡工
3回戦 盛岡三 再戦不実施 盛岡工 第7位
シングルス 2回戦敗退 佐久山 慧
1回戦敗退 小鯖比央里
▼女子
団体
メインドロー
2回戦 盛岡三 4-1 不来方
準決勝 盛岡三 3-2 盛岡一
決勝 盛岡三 0-3 花巻北
フィールド インコンソレーション
5回戦 盛岡三 再戦不実施 盛岡一
第2位 (東北大会出場)
シングルス 第3位 山根里々花
ベスト16 平沼 舞子
1回戦敗退 佐川友梨 嶋田琴和
ダブルス 第2位 山根里々花 平沼舞子
ベスト8 佐川友梨 嶋田琴和
●第40回東北選抜高校テニス大会
▼女子
団体
メインドロー
1回戦 盛岡三 0-5 八戸西
フィールド インコンソレーション
1回戦 盛岡三 2-3 花巻北

ボート部

●第46回東北総合体育大会ボート競技
少年女子ダブルスカル
第2位 八重樫鈴音 五田市愛怜子 (国体出場)
●令和元年度全国高等学校総合体育大会ボート競技大会・第67回全日本高等学校選手権競漕大会
少年女子ダブルスカル
準決勝進出 八重樫鈴音 五田市愛怜子 (ベスト16)
●第51回若手県高等学校新人ボート大会
▼男子
シングルスカル
第3位 本多光志郎
第2位 木越 健太 (東北選抜出場)
ダブルスカル
敗者復活戦敗退 藤澤武士 鈴木雅人
敗者復活戦敗退 帷子知輝 有馬 葵
舵手付きクォドルプル
敗者復活戦敗退
土橋凌介 小林爽人 永島弦人
上野敬太郎 澤瀬 理
▼女子
総合第1位
シングルスカル
第1位 五田市愛怜子 (東北選抜出場)
第3位 中川 美穂
ダブルスカル
第1位 鎌田 帆南 小澤 幸紀 (東北選抜出場)
白根 咲
第3位 齊藤 愛乃
舵手付きクォドルプル
第2位 岩田 舞 山生 楓
川村 萌花 櫻田加奈子
岩泉ひかる (東北選抜出場)
●第34回東北高等学校選抜ボート大会
▼男子
シングルスカル
敗者復活戦敗退 木越 健太
▼女子
シングルスカル
第1位 五田市愛怜子 (全国選抜出場)
ダブルスカル
第2位 鎌田 帆南 小澤 幸紀 (全国選抜出場)
舵手付きクォドルプル
第3位 岩田 舞 山生 楓
川村 萌花 櫻田加奈子
岩泉ひかる (全国選抜出場)

スキー部

●令和元年度国体選考会
アルペン 大回転競技 第9位 石川 琳久

野球部

●第101回全国高等学校野球選手権岩手大会
2回戦 盛岡三 7-0 伊保内(8回コールド)
3回戦 盛岡三 4-2 大船渡東
4回戦 盛岡三 4-2 久慈東
準々決勝 盛岡三 4-3 一関工(ベスト8)
●令和2年夏季若手県高等学校野球大会地区予選代表決定戦 盛岡三 9-7 盛岡商
●令和2年夏季若手県高等学校野球大会
2回戦 盛岡三 6-7 水沢商

<文化部>

吹奏楽部

●全日本吹奏楽コンクール第57回若手県大会
金賞 (代表)
●全日本吹奏楽コンクール第62回東北大会
銅賞

文芸部

●第43回全国高等学校総合文化祭 (2019さが総文) 文芸部門
参加 帷子 結海
●令和元年度若手県高校生文芸コンクール
詩部門
入選 帷子 結海 西山 綾乃
戯曲部門
優良賞 國崎 萌子
短歌部門
最優秀賞 帷子 結海
優良賞 國崎 萌子
入選 阿部 理恵 鈴木 陽
西山 綾乃 船津 拓郎

俳句部門
優良賞 渡辺 香桜
入選 帷子 結海 西山 綾乃
鈴木 陽 鈴木 倫華
随筆部門
優秀賞 三浦 麻名
優良賞 一戸玖瑠美
入選 及川 重美 内川 りん
小説部門
最優秀賞 國崎 萌子
優秀賞 笠井 太郎 及川 亜美
優良賞 山崎 駿介 帷子 結海
西山 綾乃
文芸部誌部門
優秀賞

写真部

●第42回若手県高等学校総合文化祭写真部門・第38回若手県高校写真展
優良賞 横田 一夏 「青の中」
優良賞 伊五澤 櫻 「真剣な眼差し」
入選 岡本 真結 「勝負」
入選 今野 鳳人 「勝利の咆哮」
入選 昆 奈緒美 「無垢な瞳」

演劇部

●第42回県高校総合文化祭演劇部門・第45回県高校演劇発表大会
優秀賞 「主にりんごのせい」
(生徒創作・佐藤七花作)

書道部

●第42回若手県高等学校総合文化祭書道部門・第54回若手県高等学校総合文化祭書道部門
入選 欠端 友唯 北方 美緒
館澤 智子 田頭 真愛
中森 理子 新田 桜子
内藤 夢 戸田 奈葉子
中島 颯花 長瀬あかり
米澤 遥香

囲碁将棋部

●第38回若手県高等学校文化連盟将棋新人大会
男子個人戦B級 第3位 淋代 篤司
男子団体戦B級 第3位
中條椋我 小澤陽太 細田 真

美術部

●第42回若手県高等学校総合文化祭美術工芸展
特賞 磯部 理世 「終電、のち…」
令和2年度全国高総文祭出品
佐々木 愛 「白痴の王」
入選 阿部 菜 「曇雲」
星野 彩 「底」
大坊 咲葵 「道草」
伊五澤 櫻 「青と桜」
上村 優依 「切り株」
大瀧 千尋 「538.2」
久道菜々子 「菜の花」

音楽部

●第71回全日本合唱コンクール若手県大会
銅賞

科学部

●第66回若手県高等学校理科研究発表会及び第42回若手県高等学校総合文化祭自然科学部門研究発表会
研究発表部門 最優秀賞
光速班
「Challenge the speed of light」
(第44回全国高等学校総合文化祭「2020こうち総文」出場)

英語部

●若手県Kenji Cup高校生英語ディベート大会
チームA 1回戦敗退
チームB 2回戦敗退

<委員会>

視聴覚委員会

●第23回東北高等学校放送コンテスト福島大会
アナウンス部門 奨励賞 工藤 才佳

母校支援 寄付のお礼

平成25年度より、母校支援のために会員の皆様をお願いしている寄付も8年目となり、今年度も多くの皆様から多大なるご厚情を賜り、誠にありがとうございます。今年度は皆様から頂いた寄付の中から、例年通りSRH事業への補助へ30万円支援した他、部活動の遠征などに使う部活動特別振興費に50万円の補助をし、学校からも大変喜ばれております。ありがとうございました。お陰様で昨年度も複数の部活動が東北大会や全国大会に出場し活躍してくれました。残念ながら今年度に関しては、新型コロナウイルスの影響で高校総体を始め、各種大会が中止となり、後輩たちの努力を示す場所も限られてしまいました。しかしながら、皆様のご寄付で活動できた時間は、それぞれの一生に大きな財産をもたらしたと存じます。誠にありがとうございました。

今後も引き続き、時期周年行事にかかる資金の計画的な積み立てを行いながら、母校生徒の諸活動の充実に向け支援していく所存であります。今後とも本趣旨に対し、何分のご配慮を賜り、会員の皆様のご助力を頂ければ幸いです。ただ、現在、新型コロナウイルスの影響で大変苦勞していらっしゃる方も多いことと存じますので、何卒、ご自身のことを最優先して頂きますよう、加えてお願い申し上げます。

末筆ながら、会員の皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

同窓会会長 泉山 良男

同窓会役員名簿

会 長	泉 山 良 男	2 回 生
副 会 長	滝 村 民 明	1 回 生
	山 内 隆 文	5 回 生
	藤 原 誠 司	13 回 生
理 事	増 澤 ひかり	3 回 生
	小 綿 明	7 回 生
	藤 原 誠 徳	9 回 生
	村 田 達 彦	13 回 生
	及 川 正 樹	15 回 生
	伊 勢 志 穂	16 回 生
	佐 藤 直	16 回 生
	菅 昌 明	17 回 生
	小笠原 啓 助	21 回 生
	袴 田 恭 司	24 回 生
	馬 場 暁 彦	24 回 生
	深 田 真 弓	40 回 生
監 事	横 澤 忠	2 回 生
	藤 田 光 孝	3 回 生
顧 問	中 島 新	校 長
関東支部会長	後 藤 良 平	14 回 生
事務局 長	米 沢 崇 史	33 回 生
事務局 次 長	邊 明 進	31 回 生
事務局 員	塚 田 美 和 子	27 回 生
	藤 澤 仁 美	38 回 生
	齊 藤 芳 朋	35 回 生
	高 橋 麻 美 子	36 回 生

事務局より

日頃より、会員の皆様には同窓会活動に対しご理解とご支援を頂きありがとうございます。

- ① 今年度も例年通り株式会社サラトの協力を得て会報を発送しております。住所変更がございましたら、「住所変更のご連絡方法」をご参照のうえ、ご一報をお願い致します。
- ② 今年3月で55回生の卒業となりましたが、同窓会理事にも様々な世代の方に参加して頂き、建設的なご意見を賜りたいと考えております。できれば各学年で最低1名は参加して頂ければというのが、現在の同窓会の希望です。その上で理事に立候補して頂ける方は是非、事務局へ連絡をお願い致します。

住所変更のご連絡方法

住所等の変更があった場合は盛岡三高ホームページのフォームによりご連絡頂くようお願いいたします。

- 手順 1 ホームページトップから「PTA・同窓会」をクリック
- 手順 2 鵬同窓会の「住所変更の連絡について」をクリック
- 手順 3 鵬同窓会 代表メールアドレス をクリック
- 手順 4 内容を打ち込み「送信」をクリック

ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

「盛岡三高 鵬同窓会 関東支部」を紹介します。

鵬同窓会関東支部は、関東在住の有志によって運営されています。1回生(73歳)から、55回生(18歳)まで、世代を越えての気軽な集まりです。

毎年恒例の総会・懇親会は2020年2月8日(土)に開催されました。また、今年7回目の「新人歓迎会」は6月21日(日)に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、残念ながら中止となりました。そのため、進学や就職、転勤などで関東方面へ来られた方々とお会いできていません。何名くらいが関東方面に来ているかもわかりません。ぜひ関東支部に登録いただきたいと思います(登録方法は一番下を参照)。

定例幹事会(今年はリモート開催)や、ゴルフや音楽などのさまざまな部会の活動もしております。

来年の総会・懇親会は2021年2月に開催の予定ですが、まだ決定できない状況です。ホームページ、Facebook、Twitterなどでもお知らせいたします(例年は関東以外にお住いの方も参加できます)。どうぞよろしく願いいたします。



音楽部会、懇親会でのライブ。校歌の演奏も♪



関東支部総会・懇親会
2020.2.8
東京グリーンパレスにて
74名参加

1回生から54回生が
一緒に盛岡三高の校歌を
歌います。
毎年、感動しています。

盛岡三高
鵬同窓会
関東支部

関東支部コロナ支援委員会を立ち上げました。

関東支部は、全国の鵬同窓生に呼びかけ、新型コロナウイルス感染症の影響で生活や学業の継続に困窮している同窓生を支援しています。関東支部コロナ支援委員会を4月25日に立ち上げ、同窓生の有志に寄付を募りました。支援要請があった同窓生とリモートでの面談を行い、7月18日現在で、のべ18名を金銭面、アルバイト斡旋、物資の支給などの支援を行いました。情報提供、寄付など引き続きご協力お願いいたします。新着状況を関東支部のホームページにも随時載せています。

ご寄付の振込先：みずほ銀行東京中央支店普通2330400

登録名：盛岡第三高等学校鵬同窓会関東支部 お名前の前に567と付けて振込みください(1000円以上)。

盛岡三高鵬同窓会関東支部ホームページ オフィシャルサイト：<http://moriokasankou.com>

「鵬同窓会関東支部」へ登録してください。ootorikantou@gmail.com に空メールを送ると確認メールが届きます。

お問合せ：関東支部事務局 安保 亮(あんぼあきら14回生) 電話 090-9314-5290

Twitter：鵬同窓会関東支部公式 @ootori_kantou

Facebook：盛岡三高鵬同窓会(非公開グループ)<https://www.facebook.com/groups/moriokasanko.otori/>